



様式第5号（第5条関係）

令和4年4月4日

益田市議会議長
河野利文 様

議員 中島 守

益田市議会政務活動費の交付に関する条例第6条第1項に基づき、下記のとおり提出します。

令和3年度政務活動費収支報告書

1 収 入
政務活動費 120,000円

2 支 出

(単位：円)

科 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費	87,784	福島市視察研修
研 修 費		
広 報 費	46,530	市政報告
広 聴 費		
要請・陳情活動		
会 議 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
人 件 費		
事 務 所 費		
合 計	134,314	

3 残 額 0円

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

政務調査費支出報告（調査旅費）

氏名 中島 守

視 察 先	福島県福島市（令和3年11月8日～10日）			
調 査 日	令和3年11月9日			
視察内容	道の駅ふくしま整備の背景と目的			
経 費	交通費	円	宿泊費	円
		円		円
		円		円
	合計		87,784	円
所 感	<p>福島市は東京から東北新幹線で1時間30分の距離にあり、福島駅は山形新幹線と北へ向かう東北新幹線の分岐点でもある。道路については、東北自動車道が福島市中心部の福島 JC で東北縦貫自動車道が山形方面に向かう東北の中央部を走る東北中央自動車道と分岐するところでもあり、面積767㎢、人口273千人の町である。</p> <p>東北中央自動車道が令和2年に全線開通する社会情勢を見据えて、地域振興施設としての「道の駅」整備事業が平成28年度にスタート。平成28年度は基本構想、平成29年度は基本計画をそれぞれ策定、平成30年度には基本設計と総合プロデュース支援業務委託事業を実施。特にハード部分を建設部路政課道の駅施設整備係、ソフト部門を商工観光部観光コンベンション推進室がそれぞれ担い、総合調整は道の駅機能整備室が担う体制を敷き対応してきた。令和元年、実施設計からは商工観光部内に道の駅整備室を立ち上げている。令和4年春のオープンを目指して現在工事が進行中であった。この道の駅建設の計画から実施に向けた一連の説明について商工観光部道の駅整備室の2名の次長より説明を受けた。</p> <p>施設整備・運営のコンセプトは「^み実・^お湧・^{まん}満・^{さい}彩」の地域振興の拠点を目指している。もともと福島県は「くだもの王国」の呼び声高く、特に福島市は、桃・ぶどう・なし・りんごなどの初夏から冬にかけて様々なくだものが実りの時期を迎え、新鮮な果物狩りが楽しめる状況にあり、泉質の異なる3つの温泉郷があり、名湯めぐりを楽しむこともできる状況もあった。今回建設している道の駅は、情報発信の新たな拠点、集客・交流の新たな拠点、地域産業の新たな拠点の3つから構成</p>			

されていた。

「道の駅」整備の拠点がくだもの産地の中央部に位置していることから、旬な果物狩り情報の紹介や地元素材をふんだんに使ったスイーツが食べられるレストランの出店、道の駅を拠点に巡る観光果樹園巡りや、電動アシスト自転車によるサイクリングの拠点あり、県産木材を活用した木のぬくもりが作り出す安らぎの空間となっている。レストランからは圧巻の吾妻連峰が眺められる良いロケーションが創造され、情報発信では観光果樹園の紹介やふくしまのアンテナショップとしての機能。新商品のテストマーケティングの場の提供など新規事業のチャレンジなどの支援。

施設の運営については、設計・建設は市が担い、管理運営は指定管理者を公募して決定した。地元の2社を含め県内1社と県外1社の4団体が応募した中で県外の会社で道の駅4か所を栃木県・茨城県で運営している管理実績のある会社が落札し、運営を担うこととなっている。指定期間は10年間。

施設整備の概要は敷地面積が2.8ha、大型・中型を含めて322台収容できる大規模な駐車場。総事業費は34億円の内建物が15億円、外構工事が6億円で大規模なものとなっており、レストラン・物販などの「道の駅」建物本体は農林水産所の補助事業である農村漁村振興交付金を活用。道路休憩施設については国土交通省からの社会資本総合対策交付金活用した福島県からの負担金を活用。電気自動車の充電のためのEVスタンドは経済産業省の充電インフラ整備事業費補助金を活用。また、特徴としては広域防災拠点として東日本大震災の教訓を生かし敷地内には防災備蓄倉庫及び耐震性地下貯水槽(40トン)などが整備されることとなっている。

売り上げ目標は8億円を設定している。

建設現場はあいにくの雨天であったため視察できなかったが、益田市が建設整備を進めている道の駅の参考にしていきたいと感じたところである。

領 収 証

№ 012886

令和 3 年 11 月 19 日

中 島 守 様

領収金額	百万	千	円
	7	855	20



但し 11/8 ~ 11/10 旅行代金として

上記金額正に領収致しました



島根県知事登録 2-9号 全旅協保証社員

株式会社 **全国観光公社**
〒698-0023 島根県益田市常盤町5番29号
TEL (0856) 22-1144
FAX (0856) 22-1144
E-mail: info@zenkannet.jp

取扱者



福島市視察旅費内訳

項目及び使途	政務活動費の 支出額	支払先及び 支払年月日	活動年月日及び場所	摘要
調査研究費	492 円	東京モノレール	令和3年11月8日 羽田空港～浜松町駅	ICカード使用のため領収書なし
調査研究費	492 円	東京モノレール	令和3年11月9日 浜松町駅～羽田空港	ICカード使用のため領収書なし

合計支出 984 円

上記のとおり相違ないことを証明します。

提出者

議員名 中 島 守

注) 1 按分又は経費分割により支出を行った場合は、「摘要欄」に全体額及び按分率又は経費分割内訳額を記載すること。

2 領収書等を取得することが困難である理由を「摘要欄」に簡潔に記載すること。

領収書

2021年11月09日 -006

メーター運賃 ¥1,120円

合計 ¥1,120円

現金支払 ¥1,120円

無線番号 132

毎度ご乗車ありがとうございます。

福島貸切辰巳屋自動車備

福島市北町3-30

☎ 024-523-3241

領収証

毎度ご乗車ありがとうございます。

車両番号 001108号

2021年11月09日

乗車料金

¥1390円

上記の通り正に領収致しました。

(個人)あまのタクシー

阿部賢一

〒960-0231

福島市飯坂町平野字井ノ目1番地の2

携帯 090-3366-6328

領収書

2021年11月09日 -006

メーター運賃 ¥1,300円

合計 ¥1,300円

現金支払 ¥1,300円

無線番号 124

毎度ご乗車ありがとうございます。

福島貸切辰巳屋自動車備

福島市北町3-30

☎ 024-523-3241

タクシー代 福島駅～福島市役所控後

$(1120 + 1390 + 1300) = 3810$

視察先みやげ代 3873

合計 7683円

視察人数6人 $7683 \div 6 = 1280$ 円

経費1人当り 1280円

領収証

No. _____

新政会 様

2021年11月7日

★ ¥3,873-

但

上記正に領収いたすこととす

内訳

税抜金額

消費税額等(%)

益田市あけぼの本町9-18

有限会社 鶏卵

代表取締役 原田 義夫

TEL (0856) 22-0794

政務活動費支出報告（広報費）

広 報 費	報告書印刷費
目 的	議会活動報告書作成のため
経 費	<u>印刷費 46,530 円</u>
成果品等	市政報告書 46,530 円

領 収 証

№ 009533

中島守 様

令和3年11月22日

金額	百	十	万	千	百	十	円
			4	6	5	3	0

但

上記正に領収致しました

内 訳	
現金	✓
小切手	
手形	
振込	
相殺	

収入印紙

紙文具卸・事務機納品・日用品卸
有限 株式会社 た な
代表取締役 佐々木 孝
益田市高津 4号
TEL <0856> 23-6650
FAX <0856> 23-6650

係印 佐々木